

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| □「地域のつながり」に必要なこと…………… 1P | □ふくし職員リレーインタビュー…………… 2P |
| □強度行動障害支援者養成実践研修… 2P | □行政職員インターンシップ受入報告 …… 3P |
| □第三者組織評価説明会@ちた …… 2P | □インフォメーション …… 4P |
| □ホームヘルパーフォローアップ研修 …… 2P | |

「地域のつながり」に必要なこと

新年あけましておめでとうございます。

2018年の新春を迎え、皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。また旧年中は、多くのご支援を賜りまして誠にありがとうございました。新しい年の始まりに際し、謹んでご挨拶申し上げます。

さて、昨年6月の代表理事交代の際「これまでの方向性を継ぎ、地に足をつけた活動で貴女らしい運営を」とエールを受け、人が変わることをデメリットと捉えるのではなく、メリットにしていける組織基盤の強化を目指し、日々の事務局業務改善を積み上げながら、事業のPDCA等も含めた情報共有の仕組みづくりに着手しています。この経験や第三者組織評価（本紙3頁参照）の項目を参考に、中間支援力を発揮していきたいと思えます。

これまでの方向性を継ぐ一つとしてちた型0～100歳のまちづくりを支えるNPOのネットワークは、日本福祉大学サービスラーニングのフィールドとしても活躍しています。今年度は97人の学生がNPOでの夏季の活動終了後に見えてきた地域課題を研究テーマへ絞り込み、チームを再編して12月9日、研究結果報告が行われました。後期授業でテーマが類似する他NPOでのヒアリングや参考文献等で研究を深めていく中で必要な「地域のつながり」を活動先のNPOの役割や成果から立証させ、さらにNPOの運営上の課題まで言及した内容になっていました。人が人らしく生きるために何が必要か、ここで学んだ気づきや疑問を核にして3、4年次の専門演習でさらに掘り下げていくそうです。

また、知多地域の2エリアで新たに地域のつながりづくりが動き始めています。東浦町では「地域の中でさりげなくつながり支え合える仕組みや、誰でも活躍できる常設の居場所が欲しかった」と



開放的な室内には、子育て親子や老人憩いの家のサロン後に立ち寄る人等20～40人が利用する

絆の山崎紀恵子代表理事は、12月4日にオープンした「地域の縁側グリーン・ラソ」への想いを語ってくださいました。「ラソ」とはスペイン語で「絆」という意味だそうです。今後は、コミュニケーションや地縁組織、社協との連携に努めながら、地域の皆さんとの絆を深めていきたいとのことでした。そして、知多市では1月28日、だいこんの花旭南に常設型コミュニティサロン「サロン・ド・カフェ らでいしゅ」がオープンする予定です。（市野恵）

2017年度 あいちコミュニティ財団

「ちた型 0～100歳のまちづくり基金」成果報告会

日時 1月21日(日) 9:30～11:45

会場 森岡台自治会集会所 ※駐車場あり
(東浦町大字森岡字下今池1-132)

内容 0～100歳、誰もが安心して暮らせるまちづくり チームにじ成果報告会&円卓会議
～地域で知り合いを増やす はじめの一歩～

参加 無料

対象 ちた型まちづくり基金寄付者、東浦町住民
行政・社協・医療福祉機関・テーマに関心のある方

申込 NPO法人絆 電話:0562-83-7563

※駐車場が狭いため大府駅東口から会場までの送迎があります。申込みの際は、氏名、所属、連絡先、送迎の有無が必要です。

■強度行動障害支援者養成実践研修

平成28年度より実践研修を年1回開催、今年度は愛知県内の事業所より39人が受講し、2日間のプログラムを修了した。強度行動障害のある当事者への支援方法が適切に行われ、いつでもどこでも安定したサービスの提供ができるよう、基礎研修を修了した実務経験3年以上の指導者の立場の職員を対象に、共通した支援計画シートや支援手順書が作成できることを目的として行っている。

初日は、障害特性について課題演習や講義を通じて理解を深め、当事者の状態や環境のアセスメントに基づいた支援方法の作成手順を学び、2日目の実践報告では、グループホーム内での生活や外出支援等の行動援護の事例を通した報告内容に沿い、地域で過ごすための環境整備や支援方法を共有した。また、時間の経過とともに変化するライフステージ毎の課題に直面する家族の想いを受け止める時間を大切にしている。

演習では虐待防止についてグループワークを行うことで受講生からは「他の施設での取り組みを聞き、参考点をできることから取組んでいきたい」という声が多く、様々な事業所や立場の違う受講生がともに学び合うことで、チーム支援の重要性や研修後の情報交換、相談し合える関係性が構築できた。(山森)

■第三者組織評価説明会@ちた

非営利組織の信頼性を評価、認証する「第三者組織評価制度」の説明会が12月8日、知多市市民活動センターにて(一財)非営利組織評価センター主催で行われた。説明会には知多地域のNPO、行政、大学関係者など19人が出席した。

講師の杉田研一氏からは、今後助成を受ける場合、非営利組織には「組織の『自律と自立』が求められ」同時に「組織の自己評価と第三者評価が大切」になるという話がなされた。次に、組織評価の第一段階の基礎評価についての説明を受け、参加者自身による自己評価を体験し理解を深めた。

組織評価の構成は、書面による基礎評価と訪問による認証評価の二段階式になっている。また、評価結果を日本財団が提供する公益事業コ



杉田氏の話熱心に聞き入る参加者

ミュニティサイトCANPANへの公開や認証マークの表示が行えるようになる。

なお、29年度内は試行事業として基礎評価が無料で提供されるため、希望する団体は、サポートちた又は(一財)非営利組織評価センターのホームページ (<https://jcne.or.jp/>) まで。(伊藤)

■ホームヘルパーフォローアップ研修

12月8日修了した介護職員初任者研修の補講に合わせてフォローアップ研修を実施、希望者2人が生活支援技術アップを目指して足浴などの演習科目を受講した。希望者に対して随時調整を行うため、本法人までお問い合わせください。(関)

ふくし職員リレーインタビュー

社会福祉法人大府市社会福祉協議会

事業係主査 内海 勝彦さん



生まれ育った大府好きが高じ、平成4年4月大府市社会福祉協議会へ入職。現在は、日常生活自立支援事業や福祉団体事務等の業務に携わる。

災害から学ぶことは多く、名古屋市および中京地区で平成12年9月に起こった東海豪雨の災害ボランティアセンターを運営時、駆けつけた人たちが「困ったときはお互い様」と自分ごとのように懸命にボランティア活動する姿を今でも心に残るという。その後も各地の被災地へボランティアコーディネーターとして赴き、被災者やボランティア活動者の想いを聴くことに徹することで、気持ちに寄り添う支援を学ばせてもらっている。

平常時のつながりが強い地域は発災後の復興も早く、ゆえに地域のつながりやご近所づきあいの大切さを感じている。日々のつながりづくりの一つとして大府市社会福祉協議会では「ふれあいベンチ」を平成22年度から始めている。ふれあいベンチとは高齢者が集い、コミュニケーションを育み、助けあいを広げるための居場所の一貫として市内に153脚を設置する。また、特別支援学校がベンチを製作、点検見守りを市民、ボランティアグループが補修する等の市民との連携協力があつてこそ、安全性を担保できると感謝しつつ、普段の小さな関わりを機に、つながり続けたいと考えている。(関)

■行政職員インターンシップ受入報告

NPOの理解をはじめ協働の必要性の認識、各々の視点に立った協働の意識が高まるとして、今年8月～12月大府市職員採用7,8年目2人、愛知県職員採用2年目15人、計17人（写真）を受け入れた。NPO現場訪問する行政職員研修や協働推進会議、地域包括ケアに関する研修、スタッフ研修等に従事した。事後レポート（抜粋）は右の通り。

- 出会った方々のお話から、どんな方とでも笑顔で接するという、人と人とのつながりが非常に大切であると学んだ。
- 事業においては運営側と参加者の壁がなく、参加者の発表を受け運営側が考えを発表する等双方が向き合い、刺激を与えあう姿勢に私自身も多様な生き方や価値観に接することができた。
- 「福祉」と言うどうしても「問題解決」にばかりに焦点を当ててしまうが、問題解決にも取り組みながら、全ての住民にとってより良い地域をつくることを目指すことが「福祉」なのだと気付かされた。
- 時代の変化に応じた新しい福祉システムを作る上で、今までと異なる行政の役割とは何かを改めて考えさせられた。
- こちらの目的を押し進めるのではなく、相手の優先課題を聞いて、調整していくことが大切。



大府市税務課
神田 樹さん



大府市市民課
石田 元気さん



産業労働政策課
榎本 健さん



都市整備課
安藤 拓矢さん



愛知用水水道
八木 和宏さん



水質試験所
犬飼 恵里さん



小牧高等学校
神谷 里奈さん



西三河建設
山本 洋祐さん



芸術文化センター
白井 千裕さん



一宮建設事務所
長谷川 光太さん



西三河建設
西野 陽一郎さん



西尾保健所
穎川 ゆりかさん



地域福祉課
井上 博貴さん



一宮建設事務所
田邊 祐里子さん



名古屋東部県税
澤木 ゆとりさん



がんセンター
下里 和哉さん



西三河水道
苅谷 尚輝さん

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■第20回 行動援護従業者養成研修(通学)

本資格は、強度行動障害支援者養成研修基礎研修・実践研修も修了とみなす全4日間の通学研修です。

〈日程〉2018年2月17日(土)開講式、24日(土)、3月2日(金)、9日(金)研修終了後、修了式
〈会場〉ネットワーク大府 研修室 〈定員〉20人
〈受講料〉27,000円(税別・テキスト代含む)
※大府市在住在勤の方は受講料の補助があります。
〈問合せ・申込〉(N)ネットワーク大府 研修担当:豊田
電話:0562-44-3735

■2018 福祉教育・ボランティア学習のつどい

In あいち・なごや ~共生文化創造への途~

地域共生社会の実現をテーマにした本会は、2018年11月開催される第24回日本福祉教育・ボランティア学習学会愛知大会のプレイベントと位置づけ、県内関係者らとともに福祉、教育、ボランティア、協働による多様な可能性を生み出すつどい。問合せ及び開催要項は、愛知県社協地域福祉部 <http://aichivc.jp/info/2681.html> を参照

◆シンポジウム:春日井市立藤山台中学校の取り組み
第1分科会:ボランティアの本質を深める
第2分科会:当事者講師と共につくる福祉教育プログラム
第3分科会:学校・社協・地域がつながる福祉教育
第4分科会:地域包括ケアの推進プロセスにおける福祉教育的機能をテーマに(N)絆、本法人から事例報告
※分科会ごとに終了後、解散

〈日時〉2018年2月10日(土)13:00~17:00
〈会場〉日本福祉大学 東海キャンパス
愛知県東海市大田町川南新田229番地
〈定員〉200名
〈参加費〉無料
〈申込〉1月25日迄、参加申込書により県社協宛へFAX
〈問合せ〉愛知県社会福祉協議会 地域福祉部
〒461-0011 名古屋市東区白壁1丁目50番地
電話:052-212-5502 FAX:052-212-5503

■第16回 福祉たすけあいフォーラム

介護保険制度の大幅な改正を受けて、要支援者を地域でささえる体制づくりが各市町において求められています。介護保険と合わせて制度外のささえあい活動にも取り組んでいかなければならない中、福祉NPOが持続可能な経営をどう展開すべきか、考える機会とします。

◆基調講演:「平成30年度 介護保険法改正のポイント、今後の展望」
厚生労働省老健局振興課長 込山愛郎さん、他

〈日時〉2018年3月4日(日)10:30~16:00
〈会場〉名古屋市総合社会福祉会館 大会議室
(名古屋市北区清水17番1号 7階)
〈参加費〉1,500円(あいち福祉ネット会員1,000円)
〈申込〉(N)あいち福祉ネット 事務連絡係:三島、遠山
電話:052-979-6446 FAX:052-979-6448
E-mail: vns@vns.or.jp

■スタッフ・ボランティア大募集

- ①小規模多機能型居宅介護事業所すずしろの花
◆住所:知多市旭南1丁目22番地の1、1階
◆業務内容:食事、入浴、口腔ケア、移動等介助、体操レクリエーション等、身の回り支援を行うスタッフ
◆勤務:常勤(月15~20万円)、パート(時給900円)
※実習(4日)・研修(2か月)期間は時給900円
- ②サロン・ド・カフェらでいつしゅ
◆すずしろの花の横に1月28日(日)オープン予定
◆ボランティア内容:食事作り、掃除、洗濯、買い物等
面接時に活動する希望時間・曜日等を教えてください
〈問合せ〉(N)だいこんの花 すずしろの花 面接担当:①荒木麻貴臣、②荒木智子 電話:0569-47-8080

■サポートちた ベティ基金お知らせ

障がい児者への支援等を行う団体を応援するため、自主活動に必要な費用助成します。次回の5月助成を希望の場合2018年3月末までに利用申請書が必要です。(担当:江端)

手づくりカフェ Ada-coda お知らせ

営業日は下記、HPカレンダーをご参照ください
<http://cfsc.sunnyday.jp/01-adacoda/>
現在、ワンデイシェフ、ワンデイコーディネーターを随時募集しています。詳しくは、サポートちたまでお問合せ下さい。(事務担当:安藤、竹内由)



特定非営利活動法人

地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631
Fax 0562 (33) 1743